

平成29年度第7回石狩市浜益区地域協議会議事録

日 時：平成30年1月10日（水）16：00～17：15

場 所：浜益支所庁議室

資 料：会議次第

浜益区の福祉サービスの在り方について

資料1

＝会議次第＝

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 浜益区の福祉サービスの在り方について
4. その他
5. 次回開催日程について
6. 閉 会

出席者：23人（委員13名、職員10名）傍聴人：1名

委 員			職 員	
役 職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会 長	宮田 勉	○	(支所) 支所長	松田 裕
副会長	大久保満彦	○	(支所) 地域振興課長兼都市整備課浜益支所担当課長	木村 新吾
委 員	寺山 広司	○	(支所) 地域振興課観光担当課長	成田 和幸
委 員	門脇 弥	○	(支所) 市民福祉担当課長併任浜益生涯学習課長	笹 富雄
委 員	小田 則貞	○	(支所) 保健福祉担当課長兼はまます保育園長 兼浜益国保診療所庶務課長	若狭 康晴
委 員	三上 正信	○	(支所) 地域振興課主幹	羽立 欣一
委 員	辻 カヨ子	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主査兼産業振興担当主査	藤巻 誠一
委 員	羽立 裕子	○	(支所) 地域振興課地域振興担当主任兼産業振興担当主任	須田 恒
委 員	岸本 紀子	○	(本庁) 高齢者支援課長	巴 嘉之
委 員	中元 義晴	○	(本庁) 高齢者支援課介護・高齢担当主査	宮 一作
委 員	渡邊真奈美	○		
委 員	小笠原輝幸			
委 員	徳地 克実	○		
委 員	石川 宗	○		
委 員	瀧 勝明			

1 開 会

【木村課長】

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

只今より平成29年度第7回浜益区地域協議会を開催いたします。開会にあたりまして宮田会長よりご挨拶をお願いいたします。

2 会長あいさつ

【宮田会長】

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

今年の正月は、今まで経験したことの無いような穏やかなお正月だったと思います。年末には停電等のアクシデントがありましたけれど、静かな正月を過ごせたなと思っております。

1月4日に市の新年交礼会に出席させていただきました。その市長の挨拶の中に、9月の大雨災害のことからユーカーの里のことから、4月にオープンします道の駅、そういう話題を含めて、浜益について長い時間を掛けてお話されておりました。

地域自治区の設置期間が、残りあと2年10ヶ月ほどになっております。これからの会議1回1回を大切にしながら、真剣な話し合いを重ねていけば、なにか明るい光が見えてくるのではないかと、そう考えております。地域活性化と申しましても大変重い課題であります。答えを見つけ出すことは簡単ではありませんけれども、真剣に続けていけば何かつかめるのではないかと考えております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今日はこの後、本庁、高齢者支援課の巴課長、宮主査が見えております。レジメにもありますとおり、浜益区の福祉サービスの在り方について、ということで、報告、問題提起がされる予定となっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます

【木村課長】

ありがとうございました。

それでは、これからの議事進行については、会長に議長をお願いいたします。

3 報告事項

【宮田会長】

はじめに報告事項1) 浜益区の福祉サービスの在り方について、高齢者支援課の方から説明をお願いします。

【巴課長】

高齢者支援課の巴と申します。

石狩市の高齢者福祉の現状を申した中で、お題の浜益区のサービスの在り方についてということで、お話をさせていただきたいと思ひます。

唐突に浜益区のサービスの在り方について、という事でお題にあがっておりますけれども、2ヶ月前、10月の協議会の中で市長がこちらに参りまして、その話の中で5年前の指定管理の話を含めて、ちょっと話されたかなと思うのですけれども、その部分を含めてお話に来たというところであります。

高齢者支援課では現状といたしまして、今年4月から新たな介護保険事業計画、高齢者福祉計画というものをいま策定最中であります。介護保険事業計画につきましては、65歳以上の方が介護保険料いくらになるんだと、1番興味深いところではあるのかなと思うのですけれども、今現在として基準額が介護保険料5,050円、それが4月以降、今検討中ではありますけれども、5,050円から5,200円ぐらいまでの間の中で、金額が設定かなと考えておひまして、その介護保険料だけの計画ではないのですけれども、市全体での高齢者福祉についてどうあるべきかというのを、いま議論している最中であります。地域によってはいろいろな課題というものが様々ありまして、いま1番、石狩市全体の中で本当に課題として考えているのは、介護を支える人材が本当にいくなつてきていて、これから高齢者が増えていくと虚弱の高齢者というのも増えていきます。その方を支えていく専門職の方がいないということになると、サービスというものが提供できないというようなことも、起こりえるわけですから、その部分が1番の課題として市としても考えておひます。

その高齢者保健福祉計画、人材だけの課題ではなくて、それぞれの地域に合った地域の高齢者支援のあり方というものを課題として、意見交換等々を含めてやっていきます。今回の6カ年の高齢者保健福祉計画の中では、厚田区、浜益区も含む介護サービスの在り方について検討しますというふうにいま私の中では考えておひます。

浜益区の福祉の在り方についてなんですけれども、この後、主査のほうから話はしますけれども、この間10月から、様々、支所の職員それから介護サービス事業所の職員も含めまして、いろいろと現状把握してきておひます。

その中で、浜益区、実田に特養がありグループホームがありシルバーホームがあり、ここの本村に高齢者生活福祉センター、その中には居住部門とデイサービス・ホームヘルプサービス事業所があり、そ

れから向かいになりますけれども診療所がありというところで、点在している部分もあり、これをどう効率的に介護サービスを回していくか、課題解決に向けたサービスを展開していくかというところを考えています。

浜益にとって、どういう高齢者支援というのが必要かというのを、今後は考えていかなければならない、というふうに考えておりました、今回意見交換を含めてやっている状況であります。内容につきましてはこの後、担当から説明させていただきますので、よろしくお願いたします。

【宮主査】

浜益区の福祉サービスの在り方について、資料に基づきご説明申し上げます。

資料1 浜益区の福祉サービスの在り方について (説明)

【宮田会長】

只今、報告事項1) 浜益区の福祉サービスの在り方について説明がありましたが、ご質問ご意見等を受けたいと思います。何かございませんか。

【石川委員】

各施設、意見集約したみたいですが、診療所、設備の充実というのはどういう意見が出たんでしょうか。

【宮主査】

診療所は2階に入院施設があって、エレベーターが無いので、例えば車椅子を利用している方々が入院する場合、担いで上げている現状ですのでバリアフリーを進めて欲しいとのことでした。

【石川委員】

今現在の勤務状態、夜勤なりがあるんだろけれど、そういうところでの1日2日の泊まりだとか、そういう場合のための2階の部屋だと思うのです。ただど回りを見てても看護師さん方の高齢化、年配の60歳を過ぎた定年になった方で資格を持っている人方、新規で来ないから採用されている。そういうことを考えると、設備、バリアフリーも分かるのですけれど、そういう泊めておくことが、これから可能なんだろうかというのもあるのですよね。そういうことを考えていくと一概に。意見もあるが、診療所のあり方、市長も言った。記憶違いかもしれないが、私が辞めたら今の先生が辞める可能性があるよと。そういう部分もあるので、もし新たに先生が常駐できなかつたら、どのような診療所になるのかという心配もあるし、その辺の兼ね合いは、お金などの問題ではないと言ったにせよ、どうしてもそこには予算が掛かってくると思います。そこをどのようにするかとの意見も。そこには予算付けが必要になってくるだろうし、意見を聞くのもいいのですが、そういう実田の施設を見ても、介護をしている方がだんだん高齢化している。せっかく、若い方がいいね、よくやっていると思っていても辞めていく。それが現実になるならば、違う方向から検討する可能性があると思います。その辺が、診療所の設備が何か疑問に思いました。

【辻委員】

現実、車椅子でもトイレに行けない。病床6床ありますがほとんど使ってはいない。でもちょっとした原因でふらふらして歩けなくなって、2、3日点滴して、脱水状態を改善したいということで使うことが多いのですが、その時も職員が車椅子に乗せた患者さんを4人ぐらいで病室に運びます。だから、そういうことで、何とかしてほしいとの思い、気持ちで診療所の職員が要望したと思います。今の先生が、その後どうなって診療所がどうなるのか分からないのに、お金をどうのこうのは、もちろん心配ですごく無駄なことだと思えないこともないが、現時点でそういうことがあればいいなという意見ではないかと思えます。

【宮田会長】

設備を充実させるということは、予算が伴うことは確かなのですけれど、その予算は後の問題として、とりあえず今考えている診療所の問題点は何か、ということで意見交換がされたと思うのですけれども、その中で出てきたひとつの意見だということですよ。診療所の先生の意見は聞かれていますか。

【宮主査】

診療所の先生とも話をしています。診療所の看護師と話をする前に、このような形で看護師に意見をいただいてよいか、を併せて先生からも意見交換会を2回くらい。診療所をどのようにするのかなどの細かい話はしていない。全体的な診療所のことだけではなく、浜益区の介護など、大きなところの話をしています。

【宮田会長】

要するに診療所のあり方、具体的な先生の体制、看護師、施設などそういうもののあり方について意見交換したということですね。

【小田委員】

現時点で施設の入居の待機者はいるのですか。

【巴課長】

特養の待機者、希望者は、名簿上、10人弱います。ただ、そのうち、他の施設に入所している方もいるので、浜益の中での在宅での待機者は、3、4ヶ月前のデータだが、3、4人だったと思います。

【小田委員】

これから高齢者の増加に伴って、入所したくても入所できない方が増加するのですか。

【巴課長】

そうですね、今のままでは、高齢者が増加すれば、当然、認知症の方も増加や虚弱の高齢者も増加します。しかし、入所できる施設の病床数が決まっているのであれば、溢れる方もいます。特養は要介護度3以上でなければ入所できないとか、グループホームは認知症でなければ入所できないとか、浜益特有の施設であれば、シルバーホームだとか高齢者生活福祉センターは介護認定されたら入居できないなど、基本的には基準があります。

【宮田会長】

福祉施設のあり方や診療所のあり方は、非常に難しい課題だと思います。将来的に浜益では避けて通れない問題で、いつかは、方向性を見つけないといけない課題だと思います。市では、大きい福祉計画の見直しの時期ということでこれを実施しているのですか。

【巴課長】

それが契機かと言われれば、色々な要素があって、今回この様な話をするこことなりましたが、そもその計画の中で、市の高齢者福祉をこの様にしていくという計画の中で、細部までは難しいが、一定程度の方向性は出していきたいと思っております。

【宮田会長】

目途、期限はあるのですか。

【巴課長】

平成30年度からの高齢者保健福祉計画の中では、具体性は出せないと思っております。平成30年度からの計画に併せて検討して、次期の介護保険事業計画の時には、一定程度具体性は出したいと考えています。

【辻委員】

今、地域のコミュニティ力が低下しているのが本当にひしひしと感ずますね。診療所を見ても受診のための足がなく、前は近所の方に連れてきてもらっていたが、今はそれも叶わなくなっています。今回の夜の停電の時にも明かりはともかく、ストーブが無くて、すごく寒い思いをして、毛布を被って皆で寝ていた話を聞きました。そうなった時に、固定電話も使えない、そうすると一人暮らしの高齢者が、寒い中、何かあった時に救急車などの助けも呼べない、何も手段が無いままいるのかと思うととても可哀想だと思いました。隣近所の方が対応してくれたらと思うが、近所に人がいない地域、集落から離れたところに住んでいる高齢者は、不安な一夜を過ごしたと思います。

【巴課長】

コミュニティ力を上げる、以前から比べれば低下しているのは、これは、日本全国どこでもかと思っております。今下がっているのをなるべく維持する、向上に向けて何か取り組むことも高齢者福祉の中では、大事だと認識で取り組むべきだと考えています。

【辻委員】

高齢者を支えるのは、包括がすごく頑張っています。診療所の先生も看護師も皆が、包括を頼りにしていて、一人暮らしの高齢者が、何か病気になったらすぐ、包括の担当に依頼します。浜益はたった二人でその方々を見るのが大変だと思います。なるべく早く包括の力をもう少し人数配置を多くしていただきたいです。

【巴課長】

色々なところと検討します。花川もそうですが、高齢者が増加して、その対応する人数が横ばいだったら、対応しきれない場合が出てきます。花川、浜益、厚田の地域に限らないとは思いますが、対応できる人数を何とかしていきたいと考えています。

【辻委員】

花川だと民間の介護サービス事業者がたくさんあって、色々なところで利用しようと思えば利用が可

能ですが、浜益の方々は、本当に介護サービスを使える種類も少なく、回数も少ないので、その辺りは、是非浜益区の特徴と捉えて、そういうところの力を少しでも充実してもらいたいと思います。

【巴課長】

この中で、検討させていただきます。

【寺山委員】

この聞き取りの中で、職員だけ行っていますが、一般の一人暮らしの高齢者にも行ってほしい。私も一人暮らしの方々の話をよく聞くが、子どもと住む、施設に入所できれば良いのですが、自由が利かないとか、気ままにできる、あと経済的な部分もちろんあると思うが、そういう面では、一人でできるうちは家にいたいという方が結構います。だから、せっかく作ったのに入所しないとか、あと経済的な面もあります。是非一人暮らしの方々にも聞いていただきたい。それと、先ほどお金の話は抜きだと言っていました、やはりお金が伴ってくることも。例えば、一人暮らしの方であれば、冬に除雪をしてもらっていますが、それら色々な面も検討しながら、是非検討していただきたい。それともう一つ、先ほどから、介護していただく方がいないと言っていたが、浜益は昔から、農業者や漁業者も含め、住むところがないことが一番問題。介護の方だけではなく、高齢者の一人暮らしだとか、一緒にたにするのもどうかと思いますが、そういう住む施設を充実させることによって、浜益にも来ていただける方もいるだろうし、それだけではなく、職業に就職すればまた高齢者率も下がるということもあるので、そういうことも含めたらまずいかもしいかなが、検討していただければいいと思います。

【宮主査】

まだ、職員としか行っていないが、今後、区民の方々の意見を聞く際には、一人暮らしの高齢者もちろん、住宅については、意見がすごく出ていました。今回福祉から離れている案件なので、報告はできないが、中でも住宅の項目では、意見が多く出ていたので、そのあたりも検討していきたいと思います。

【宮田会長】

福祉施設の在り方、福祉サービスの在り方については、この辺で閉めてよろしいでしょうか。また次の機会に向けて本協議会でも、福祉の部分でいろいろな話も出てくると思いますので、いろいろな意見交換をしながら進めていっていただきたいと思います。

(休 憩)

4 その他

【宮田会長】

次にその他について、何かございますか。

【藤巻主査】

お手元の方に、前回の協議会以降、本日までの新聞記事等を皆さんに配布しておりますので、ご家庭にお戻りになってからご覧頂ければと思います。

5 次回開催日程について

【宮田会長】

次に次回開催日程について、事務局から提案願います。

【藤巻主査】

次回開催につきましては、会長と協議のうえ、近くになりましたらご連絡いたします。

【宮田会長】

只今、事務局から提案がありましたとおり、次回開催は後日ご連絡しますのでご出席のほど、よろしく申し上げます。

6 閉 会

【宮田会長】

以上をもちまして平成29年度第7回浜益区地域協議会を閉会いたします。ご苦労様でした。

平成30年2月28日議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 宮田 勉